

# 保育かながわ

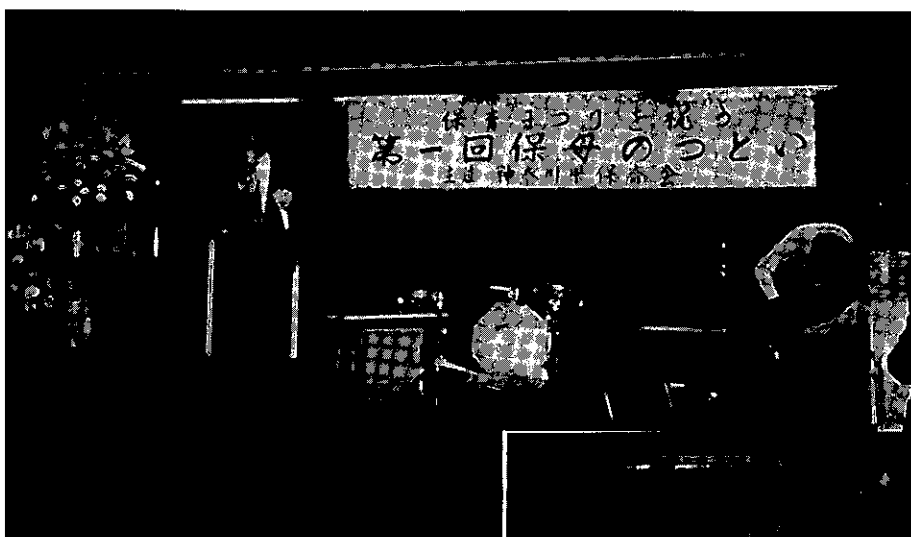
発行所 横浜市神奈川区  
沢渡4の2

神奈川県社会福祉  
協議会保育分科会  
神奈川県保育会

発行人 鈴木 萬 吏

題 字 故 内山岩太郎 筆

## 第1回 保育まつり特集号



# いいいの村へ 春を求めて

藤沢市立柄沢保育園 吉 永恒子

第一回「保育の集い」に参加した私は、旅行ギフトが当たるといふ幸運を得ました。そして紀行文を寄せるという副賞を消化するため、一月二十日より一泊の予定で南房総半島を訪ねました。

気のおけぬ同僚二人に我息子を旅の友として、愛車いすずジェミニを走らせれば、あつというまに久里浜港へ到着です。九時二十五分出航に心はずませて乗る船は、青い海にその名も映る「しらはま丸」。海の広さに目を奪われる頃、船の歯みたいな山並が見えるのは海の支関金谷を見下す鋸山です。

自然の作り出した景観に思わず息をのみながら、海岸線を南下すること四十分。

最初訪ねた館山の安房博物館、ここは海洋民族博物館で、安房地方の漁民の生産活動などを知ることが出来ます。薬屋そのものも展示してあり、イロリ、ウスなど童話そのものを生かすこともでき、又、古代捕鯨用具に四才のチビ助も御満悦でした。海岸道路沿いに

## 「第二回保育まつり」 を省みて

安部 龍巖

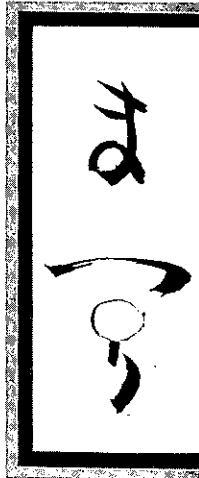
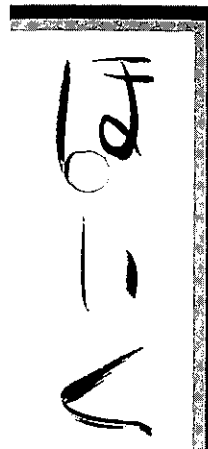
保育関係者の念願でありました「神奈川県保育賞」制度が昭和40年に制定され、つづいて昭和52年には「神奈川県保育の日」が制定されました。私は、経営者、施設長、保母等の従事者、保護者が一丸となつてともに手を携えて、喜びあい楽しみながら反省し、研修する日を。又保育の重要性や第一線で働く保母の労苦を地域社会に浸透させてゆく行事の日として「神奈川県保育の日」の制定を、ことある毎に願ひ色々と訴えて参りましたが、色々の事情から「保育の日」の名称で制定されてしまいました。そこで、私の願うてきた「保育の日」として望む、我々の行事を遂行にうつしたく、長洲知事さんの提唱するともしび運動に呼応して、昨年12月の第二回の「保母の日」を中心に「保育まつり」として展開いたしたく、県保育会役員、保護者が一丸となつて行政其他関係方面の援助をうけ、県保育会、県保母会、各市町村保

育団体夫々の企画による、第一回保育まつりの行事が催されました。とくにレクリエーションと立食パーティー、福引き等のプログラムを組んで開催した保育まつりを祝う「保母のつどい」は、大盛況にて、会場超満員。県内各地区より参会した保母さんたち保育従事者の喜びに感激、明日への保育に対する楽しい原泉のよきつどいと感じ、保育まつり行事の中の大きな成果の一つでした。

午後一時過ぎ、空腹を訴える乗客を満足させねばと立寄った所は、船の難所として有名な洲崎灯台に近い舟屋さん。ウニ、アワビの刺身をペロリ……。

洲崎から白浜まで全長一七、四キロの平砂浦の海岸沿いを走る第一フラワールライン。南房パラダイスや屏風岩など数々の名所を後にすれば、もう最南端野島崎、空の広さに明るい海。大小の岩礁が積み重なった上にそそり立つ白い灯台を五百メートル位に望む「南海荘」が旅の疲れを癒してくれました。しかし、まだ春との出会いを望む私達は宿を通過して、第二フラワールラインの千倉の方へ向うと、あるある「春」がありました。

私達はここで、松林を透して見えるコバルト色の海と船に憩いを求めました。砂をけり浜辺へと進む私達に半でん姿の村人が「あの船は故障したバナマ船が二米程の浅瀬



## 幸運の ネックレスを当てて

亀井里江子

今後毎年開催し、この「保育まつり」を、保育関係者の記念の日として、又祝日として、週間又は月間で各種の行事を計画し、保育所の果している役割を広く県民に訴えと共に、今日の保育問題の解決に向けて関係者が相互に結びあい、遺憾は即ち精進なり。で反省しつつ、推進に向つて努力し、保育者としての誇りと情熱のともしびの輪を広げつつ、こともたちのために役立てていただきたいと願うものであります。

まで波に押寄せられたのだ」と説明してくれました。そう言えば新聞に載っていたつけ。土産話にもなる野次馬根性で近づけば巨大な船体に手がとどきそう。チビに手を振らせ白い歯を出し応えてくれる乗組員との国際親善を果し、赤茶けた巨船をバックにパチリと一枚。打ち上げられた小魚を貝がらに入れ、コンブを引きつづつて歩く息子はそれを父親への土産だと車のトランクに入れる。

その名に相応しい花園の集落です。露地栽培のストック、キンセンカ、矢車草など、車を降り、籠を背負ったおばさん達を素朴な人情にふれあいながら、ゆっくりにお花畑を眺めたり写真を撮ったりしました。

引き返して囲んだ夕食は、鍋物や活作りにされた海の幸でこぼれんばかり。御飯ぬきでいただいた友は旅を終えた後も胃の調子が悪いとはやいていました。

夜は数々のショーを楽しみながら扇の使い方などすぐ保育論議になるところはさすがにマジメ。一曲いかがですかとの誘いに十八番を披露するには小数の客で張合がないとふとんにもぐりました。さて二日め、すごい強風、でも暖かい南の風に送られ再び第二フラワールラインを外房の「花の街」和田へと向えば、霜知らずの地にストックの花があまり香りを漂わせています。その横に優しく揺れるポピー「あら素敵!」「まあすばらしい!」と感動詞を並べ続けらぬ

いつつも、身近に感じえない感情を抱きつづつあったところへの保育会主催の保育まつりに参加し、ホット救われた思いがした。夕方からで、一日の仕事を終えての参加は、少しきつい思いがしましたが会場の入口で一通の封筒を渡された。これは夢への誘いであった。わアアすばらしいことが起るか?と同行した職員と笑い合った宝くじの券。他にも苦心のほどがわかる園長先生方の寄贈が会を盛り上げていた。発表の度に溜息をついたり、はやしたり、生バンドに身体を動かし、運ばれてくる食べものに、鳥の如く群がり寄つては、あら、おいしい。キャーもうない」と発しつつ、空腹を満し、喉を潤す、時を過した。

保母の会の式典が世間へのアピールであるとともに研鑽への姿勢とするならば、保育まつりは、明日への飛躍を意味する祭典の集いであってほしいと考えるのです。



うちに、黄色のリボン菜の花、白いハウスにカーネーション、農婦の足もとには金魚草と、それぞれ豊かな色どりで目をうばうような美しさを見せています。摘んだ花はなは、両手に抱きかかえる程でも百円玉十数個。

名曲「花の街」を合唱しながら、車もリズムののって快調です。大海フラワールセンターでは、椿の盆栽がその芸術性をあらわしていました。そこを後にすると、初代仁右衛門が戦いに敗れた頼朝を隠まったことで知られ、今では釣などが楽しめる仁右衛門島。

国道二二八号線を北上すると、鴨川シーワールド。アシカやイルカの珍姿の披露に飛び上つて喜び子と共にしみない拍手を送って、安房鴨川交差点まで引き返し、水仙が群生した長閑な村に別れを告げながら保田へぬけ、金谷に着けば気になっていた強風による欠航、ものはためしと木更津へ走り、やつとの思いでフェリーに乗り込めば冬知らぬ里にお別れです。

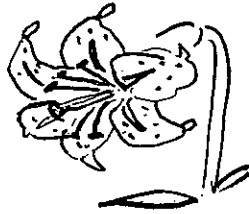
高速道をひた走り夜七時半「いいの村」への旅を終えましたが、十五日経った今も春をおすわけした方々から、まだあまい香りが部屋いっぱいにただよっています。と嬉しい便が届けられています。子ども達と共に歩く楽しさの中でいただいた幸運が、いつまでも思い出になることでしょう。今、その幸をかみしめています。本当にありがとうございます。



## 保育まつり

野本ヨシ子

全国に先がけての保母の日が、発足したことは、嬉しいことと思



# 保母の日に寄せて

## 平塚中郡

平塚地区においての「保母の日」の参加は第一回は、保育会が主催となり行なわれましたが、今年度は、保育会との話し合いの結果、保母会主催、保育会協賛で行ないました。保母の日を計画するに当たり、講演会、講習会などが出されましたが、最終的には自分達の手で作り上げ参加出来るような保母の日にしたいという事でした。

内容としては、保母同志のつながりを深める事を目的として日頃の保育内容を生かしての発表などが計画され、福祉部長・保育会々々長・保護者代表のこあいさつ

の後、第一部「保育者の声」として保育経験豊かな保母から、経験談、そして新人保母によりこれからの抱負や、先輩後輩についてなどの発表が行なわれ、参加者一同身近な発表に心をうたれ大好評でした。

第二部レクリエーションとして各園より、二、三名の代表で作られたグループにより、歌、人形劇

雅楽などが次々と行なわれ楽しいひとときを過ごすことが出来ました。以上のように保母の日の目的である保母同志の勤労意欲の高揚にはなりませんが、広く地域の認識を高める事はまだまだできず、これらは、行政、保育会等と協力し、努力しなければならぬと感じました。

来年(五十四年)度は、これらをもとに保育会、保母会の共催により、又保護者の方々の理解を得て、尚一層よりよい保母の日にしたいと思えます。(保母会々々長)

## 伊勢原市

伊勢原市は保母会が主体となり行政、保育会の共催で行われた。初めての試みとして一園を開放し一般市民を対象に保育所と保母の仕事の理解を深めることを目的に公開保育を行なった。当日は八園を紹介する写真展や児童画展も行われた。又、市長はじめ関係者多数参加するなかで一日園長、一日保母の任命、竹馬遊びも披露され

当日の受入児にはコーナー遊び等縫いぐるみ人形が愛嬌をふりまき楽しいひとときを過した。初めての試みとPR不足もあつたが意義深い保母の日であつた。今後は、一般市民のより深い理解と認識を高め、専門職としての保母の地位の向上と保育内容の充実をめざし意義のある保母の日を迎えるために努力したい。(園長会)

## 横須賀市

保育まつり

十二月九日二時より四時まで、横須賀市保育会、市保母会共催にて健保会館に於て研修会を行つた。

### 議題

- 一、保育所の給食について
  - 一、職場の人間関係について
- 県西岳照子主査をお迎えし一五〇名の参加者が身近な問題テーマでしたので感じる事が多くよい研修会との声も多く盛会の中に終りました。

「保育まつり保母のつどい」のパーティは、「保母の日」に横浜で実施したいと考えておりましたので、横浜中をぐるぐるさがし廻りましたが、三百人も人が入れる場所はみつかりませんでした。横須賀市内が駄目なら、距離的に西湘地区の人達も参加しやすい藤沢あたりはどうかと物色したところ、幸い、藤沢商工会議所のホールを借りることができました。

せっかく、はじめてのパーティを開くのだから何とか生のバンドをと考えました。なるべく沢山保母を集める為には、会員券は安い程良いという基本線から考えれば、とうてい一流バンドなど及びもつきません。

藤沢市役所に、軽音楽の同好会があつて、「けっこう聞ける」という話しを小耳にはさんだので、

今井副会長に交渉してもらつと同時に、会長名で出張依頼の文書を藤沢市長宛に発送してあのバンドを呼ぶことができました。皆さんが、けっこう楽しんでいましたので、この企画は、ヒットだつたと思つています。

さて、料理の注文には困りました。若い人は、いったいどれくらい食べるのか見当もつかなかったからです。そこで、「二、三の保母さんに聞いてみました。」「いえ、私達はほんの少ししか食べません。」「ところがこれが、たてまえ。論だとは夢にも思わなかつた私のおおしくじりで、当日は、保母諸氏のものすごい食欲に、ただ、はらはらうろろするばかりでした。もっとも無理はありません。お昼に給食を食べただけの諸氏の四時過ぎの胃袋はペチヤンコで、たてまえ、より食い気だったのでしよう。



大衆的な献立てをドッサリ用意しておけばよかつたなあと、今でもくやんでおります。

福引きは圧感でした。

「保育まつり」の特集号を面白くするために紀行文を掲載したいと、保育かながわの編集長でもある鈴木栄一副会長が、旅行券を寄附したのがきっかけで、安部会長をはじめ、副会長達執行部が我も我もと寄附を申し出ました。お陰で、ウオーというどよめきのうちに興奮のルツボと化した抽選会が空腹を忘れさせました。(富田英雄)